

報 告 う で ま く り

一般社団法人

福島県女性経営者プラザ

みんな仲良く心ひとつに！

福島県女性経営者プラザ

会長 上 石 美代子



平成30年の春も訪れました。桜やレンギョウ、木蓮、チューリップ、と春爛漫です。天気も穏やかで、優しい気持ちで幸せを感じながら今日も仕事を始めました。

さて、第4回を迎えた女子学生懸賞も昨年11月無事に表彰式を終了致しました。共催会社様はじめ後援の皆様、そしてたくさんの方の協賛会社様のご協力に深く御礼申し上げます。

平成30年度は、女子学生作文募集も

第5回目という節目の年になりますので、今までとまた違った内容で表彰式を行えればと思っております。

本場に歳を重ねると月日の経つのが早く感じますね。歳を重ねれば重ねるほど月日が早く感じられる「ジャーネの法則」※というのがある様ですが、その時、その時をしっかりと考え、心をこめて行動したいと思う、FJP新年の抱負には「心をこめて」という言葉を書かせて頂きました。何事も三日坊主に近いわたくしです。毎日自宅から会社に向かう車の中で「今日も心をこめてがんばろう」と自分に言い聞かせております。なんとか春までは守れてるかな？

平成29年度のFJPのテーマは、「福島県未来に向けて女性経営者を育てよう！」。仲間を増やそうでした。テーマ

◆FJPの目的◆

- ①女性経営者としての資質向上
- ②次の女性たちのための風土づくり
- ③共同事業の開発
- ④地域・社会への貢献

どおり、8名の新入会員をお迎えすることが出来て、毎月賑やかに、元気に勉強しております。

平成30年度は、「みんな仲良く心ひとつに！」がテーマです。会員も増えて、あの方の名前がわからないということが無いように、FJPの会員同志、お互いを知り、仲良く心をひとつにして行きたいと思っています。FJPの例会の中に「会員に聞く」という月があります。その方の生い立ち、仕事への姿勢、今後の夢などをお聞きすると、とても勉強になるとともにその会員がますます好きになります。今年度は会員同志が向かい合う機会を増やし、分かち合い、心ひとつにFJPの結束をさらに高め、パワー全開で前進して参りましょう。もちろん、新入会員もお待ちしております。

※フランスの哲学者・ポール・ジャネの発案。心理学者ビエール・ジャネの著書で紹介された法則。主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く評価されるといふ現象を心理学的に説明した。



1年を振り返る「3月まとめ例会」にて

未来に向かって 一緒に 夢を語りませんか

トライ&チャレンジ精神の豊かな仲間たちが、あなたをお待ちしています



●うでまくりとは

古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気のよい朝にバラバラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味。FJP、女の腕まくりの真価はこれから！

私は女性経営者になってこんな「しごと」をやってみたい！

第4回女子学生懸賞作文発表・表彰式

◆2017年11月26日(土) 13時30分～15時
◆福島市 辰巳屋(8階瑞雲の間)

第4回目を迎えた女子学生作文募集は、応募作品数23編、1次審査通過作品14編の中から公開審査を経て、入賞

▶挨拶をする
上石美代子 FJP 会長

▼福島県教育長
鈴木淳一氏よりご挨拶



作品8篇が決定。作品発表会&表彰式が盛大に開催された。今回で表彰者は延べ32人となり、「女子学生」に着目した企画として、各方面から期待されるようになった。今回は海外を含め、全国各地の大学からの応募があり、女子学生の皆さんとの交流の輪は、着実に広がりを見せている。これも、共催の福島民報社、福島教育委員会(後援)、福島県中小企業団体中央会(特別協賛)をはじめ15社の地域協賛企業各社の温かいご支援の賜物である。

●未来を切り開く力を創るために

表彰式ではご来賓の福島県教育委員会教育長鈴木淳一様から、「一人一人の作品に、命や暮らしを守るこの大事さを自ら受け止め、役に立ちたいという強い意欲を感じた。しかも多くのつながりの中で、その思いを強くもたれていることに感動した。未来を切り開く力を創るために、これからも広く国内外に目を向け、地域社会に貢献していくってほしい」とご挨拶いただいた。

★総評★

審査委員長 千葉悦子

福島大学副学長
行政政策学類教授
福島県男女共生センター館長



- ① 全体的に、福島への強い思い、信念、エネルギーが感じられる。東日本大震災後の福島を何とかしたい、福島の問題や課題を若い力で乗り越えようとしていて、どの作品も素晴らしかった。前に進む力にあふれ、それぞれに深みがあつて、読み応えのある作文が多く寄せられた。今回応募作品数は少なかつたが、作文内容のレベルは確実に向上していると思う。
- ② 金賞の遠藤亜美さんは、農業を営む実家が中断を余儀なくされるという大変な体験から集落営農を必ず再生させたい夢を描き、トロント大学に留学している佐々木帆南さん(奨励賞)は、福島出身であるということから遠い異国で悲しい思いを味わい、交流の仕事がしたいという思いを綴っている。
- ③ 平栗千寛さん(銀賞)、渡辺千尋さん(奨励賞)は生業、家業を継ぐとい

う思いをわくわく感で綴っている。家族や親の言葉に思いを馳せながら、後継者の道を歩む決意と覚悟が感じられる。

- ④ 地域との格差に注目した安西優里さん(銀賞)、海外留学や異文化体験での気づきから事業を考えた阿部日向子さん(奨励賞)、保育の未来に挑む蛭川友美(奨励賞)さんなど、ゆるぎない思いが伝わってくる作品であつた。
- ⑤ 全体的に、描かれた夢が現実的な目標になっている。5年後、10年後を見据えて着実に取り組んでいく姿勢が感じられる。学びと経験を積んでぜひ達成してほしい。

★審査委員★

千葉悦子(福島大学/福島男女共生センター館長)、高橋雅行(福島民報社代表取締役)、内池浩(福島県中小企業団体中央会会長)、佐川八重子(東京産業人クラブ女性部会会長)、三田公美子(FJP監事)、上石美代子(FJP会長)





夢、あるよね！ ——女子学生が未来を考えます——

■各賞の受賞者及び受賞作品

敬称略

区分	名前	学校名	タイトル
金賞	遠藤 亜美	福島県農業総合センター農業短期大学校	遠藤家、長女の想い
銀賞	安西 優里	早稲田大学	地方教育の向上を目指して
銀賞	平栗 千寛	日本菓子専門学校	WAGASHIの先に観るもの
奨励賞	渡辺 伊久美	日本大学	守りたいもの
奨励賞	渡辺 千尋	新潟大学	法律事務所を経営し、福島のために。
奨励賞	阿部 日向子	東京女子大学	B and B で観光業をもっと盛んに！
奨励賞	佐々木 帆南	トロント大学	I'm from Fukushima. (私は福島県出身です)
奨励賞	蛭川 友美	桜の聖母短期大学	保育の未来を変えていく

福島に貢献したい！ 受賞作品を披露



▲銀賞の平栗さん。お母さんはFJP会員です。娘の晴れ姿に喜びもひとしお。

▶銀賞の安西さん。ゆとり世代の感性で福島を支えて欲しい…。



▲金賞作品を朗読する遠藤さん。「長女の思い」胸打たれました。



受賞した女子学生の皆さんと共に



「将来、会員になって欲しい…」(会員との記念ショット)



上石会長から表彰状を受け取る遠藤さん(上)と、安西さん(下)



司会の紺野副会長



銀賞受賞 平栗千寛さん

子供の頃から和菓子を作る母や祖母の苦労を見てきました。老舗でも若い感覚が必要だと感じています。これから頑張っていきたいと思っています。



金賞受賞 遠藤亜美さん

多くの人との関わりがあったお蔭で書けたと思います。両親も応援してくれていたの、金賞受賞の報告ができて本当に嬉しいです。先生にも感謝しています。

●受賞の喜び



佐藤君榮さん

いわき市四倉町出身。地元高校を卒業後、東京の短大に進学。20歳で結婚、30歳時破綻後帰郷、魚新会館入社。フロント、経理、企画等担当し、1997年取締役就任、2006年代表取締役となり現在に至る。

1967年に父が創業した鮮魚店「魚新」が、1972年結婚式場「魚新会館」(ニューおしん)となり、私の代で「カルチエド・シャン・ブリアン」に改名した。鮮魚だけでは雇用と商売を安定させられないと、アイディアを探しながら、仕出しや宴会、送迎バス等どこよりも早く始めたのが父で、商売の礎を作ってくれた。3・11の打撃も大きく、婚礼業界は今も厳しい状況にある。生き残るために、女性目線で踏ん張ってきた。父なら何をしようかと時折辿りながら、新たな事業展開とより良い継承を模索している。

9月移動例会

2017年9月12日(火)
場所…カルチエド・シャン・ブリアン
(いわき市)

女性経営者として

無我夢中の11年

講師 佐藤君榮さん
(カルチエド・シャン・ブリアン代表取締役)

10月・11月例会

2017年10月17日(火) …コラッセふくしま(福島市)
11月14日(火) …ビッグアイ(郡山市)

ソーシャルビジネスに強い経営者になるために

講師 ICTコミュニケーションズ代表取締役CEO

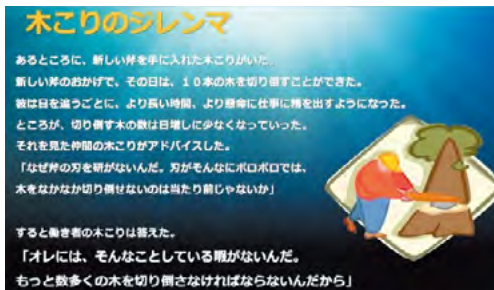
内野良昭氏

用されるコンピュータ

これまで2回にわたって、クラウド、ソーシャルメディア、スマートデバイス(現代人の三種の神器)に着目し、利用するメリットやリスクへの関心を深めることが出来た。今回から2回の講義では、自社事業との関連性を見つけていくことを目標に、三種の神器がもたらしたイノベーションを学び、理解を深めた。

●クラウド…もたらした変化①IT資産を保有しない ②課金体系 ③アップ

「ネットが苦手では事業は守れない」と強調する内野氏



2015年某都市銀行に内定した

頑張っているのに成果が出ない、そんな時立ち止まって考えてみたい時にはイソップ童話「木こりのジレンマ」。

※当セミナーは福島県中小企業団体中央会復興・自立等組織化・運営集中支援事業として一部ご支援いただきました。

IBM Watson
君はどんな新入
行員になったの
か。インター
ネットを検索す
ると、医者(手
術するロボッ
ト)や運転手(自
動走行運転)の
事例等沢山見る
ことができる。
ぜひ検索お試し
を。

2020年「なくなる仕事」

電車の運転士・車掌	大手電力会社	金型職人
レジ係	自然エネルギー関連	食産作業員、工場労働者
通訳、通訳・ワープロ入力	参議院議員	コピー・FAX・プリンター関連
新聞配達員	専業主婦	証券・不動産ブローカー
郵便配達員	日本人の取締役	ヘッジファンドマネージャー
レンタルビデオ	中絶管理職	証券アナリスト、FP
ガソリンスタンド	受付・案内業務	生保レディ
高速道路の料金徴収業務	一般事務、秘書	教員
郵便業者	オペレーター・コールセンター	文書の審判官
小規模農家、養蚕農家	訪問型営業	



とにかく盛り上がる FJP !

12月例会を兼ねたクリスマス会が二本松市の「ドリーム」(織井会員のお店)で開催されました。上石会長の挨拶に続き、久しぶりに元気な姿を見せてくれた三田監事の乾杯で宴が始まりました。お店に入った時から食欲をそそるいい匂い：次々と出てくる出来立てのお料理に歓声！ おいしいお料理とお酒に舌鼓を打ちながら、和気あいあいとした雰囲気の中でお待ちかねのプレゼント交換。楽しい時間を過ごさせていただきました。参加した皆さんも互いに親睦が図れ、今まで以上にFJPへの愛着が深まったことと思います。織井会員にはお世話になった上にステキなプレゼントまで頂き、心より感謝申し上げます。

12月例会

12月19日(火)
楽しかったクリスマス
交流広報委員会 佐藤君榮



昨年、イタリアの生活に憧れ、仕事を離れて充電したいという思いが募り、思い切つて留学しようと考えた。行く先は友人夫妻が住んでいて、何度も訪れたことのあるイタリア・フィレンツェ。数ヶ月かけて計画を練り、ドオウモに近いヴェルディ通りにある、1ヶ月1000ユーロの場所に部屋を借りた。ここは、市場や駅まで歩いて行けるととても便利な場所だ。

ボンジョルノー イタリア

2017.5.24 ~ 7.15
イタリアに留学!



澤上春江
(広報交流副委員長)

フィレンツェは街全体が世界遺産になっている。物価は高いが、美しい街並みのため、満足感が味わえる街でもある。私は、歴史的建造物が建ち並ぶ通りを闊歩しながら、料理教室やマジョリカ焼きの絵付け教室に通い、たくさん料理とテーブルセッティングのイタリアスタイルをフィアンメッタ女史より学んだ。さらに、私の通訳をしてくれた方がフェラガモのソムリエでもあったため、トスカナ地方の会員専用ワイナリーへも招待して頂き、夢のような時間を楽しむことが出来た。

ホームステイ先のガブリエッタさんは教会聖歌隊のセンターを務めており、毎週日曜日の夜9時から始まる礼拝に同行した。そこで歌った賛美歌は幼い頃に幼稚園で聞いた懐かしい曲だったことに感動！
イタリア人は、気さくで常に考え方が前向きで楽しい人が多い。お蔭で私もたくさんの人とコミュニケーションを楽しむことが出来、それは全て私の大切な宝物にもなった。

しかし、夢に見たイタリア生活を満喫していた私に、ある日突然、日本の会社から帰国命令が来る。まだ50日目、やりたいこともこれからという時だった。しかし、会社命令では仕方がない！楽しかった思い出を胸に、急いで日本に帰ることになった。：ドゴール経由で成田に着いたとき、頭の中はすでに会社のこと一杯だった。
こうして私のイタリア生活は終わりを告げた――。

新年例会

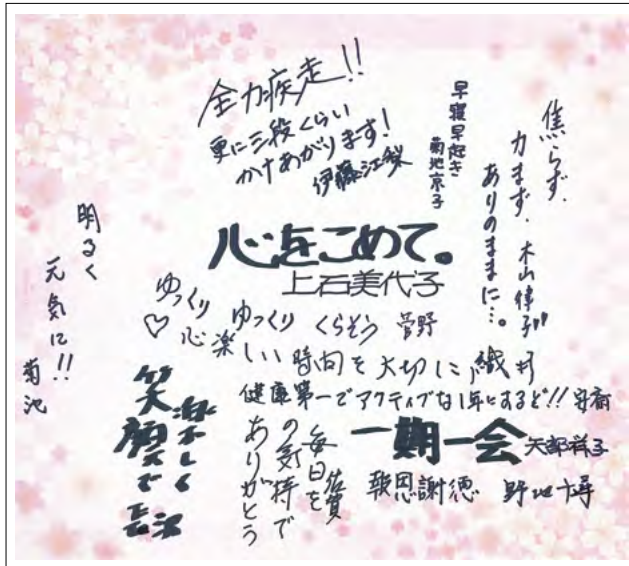
1月16日(火)

新しい年にちなんで…

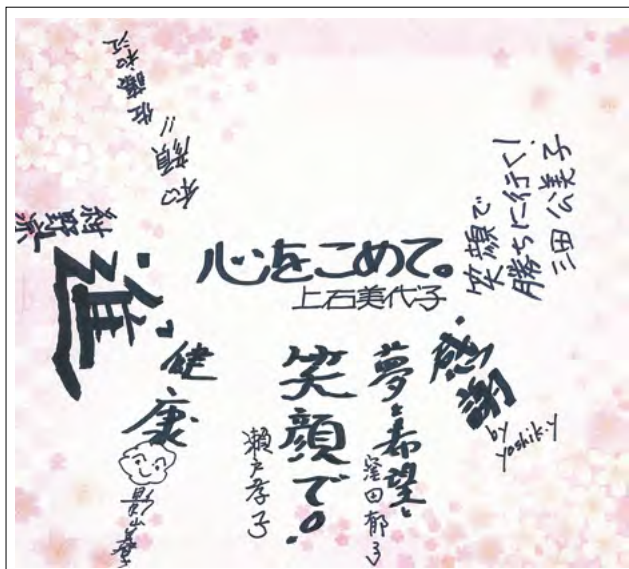
場所…茶寮おりおり(福島市)

いよいよ平成30年の幕開け！今年もいろいろなことがありそうな予感がありますが、何はともあれ、FJPは一致団結が基本。上石会長の年頭のあいさつに続き、恒例になった佐賀祐子さんの祝舞、楽しい食事会とみなさんの笑顔も揃いました。今年もよろしくお願ひします。

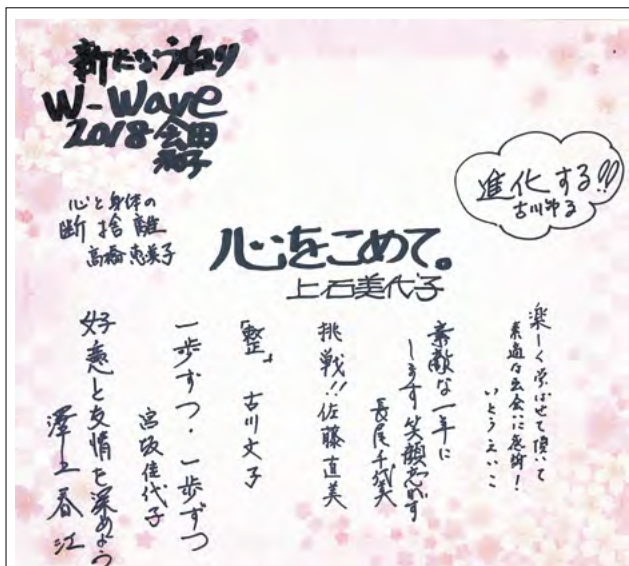
新年早々、新しい会員も増え、一層



総務委員会



事業委員会



交流広報委員会



恒例「会長じゃんけん」
優勝者は新会員の窪田郁子さん(右)

華やかになったFJP。会員の皆さんには、年頭の「二人ひと言」に替え、新しい年に寄せた想いを色紙に書いていただきました。



いつも凛として
美しい祝舞を
披露頂いている
佐賀さん



▲さすが！、出席率がいいですね！

▶色紙の「心をこめて」
独特の会長の文字
は圧倒的!!



新会員勢揃い。右から、宮坂さん、矢部さん、木山さん、古川さん、伊藤さん、佐藤さん、窪田さん



倫理法人会で出会ったご主人とのなれそめを語る古川さん(右)。愛は菓子に…と平栗さん(左)

◇平栗洋子さん(郡山市) 和菓子全般の製造販売業。餡が命、店の味を特徴づけるため日々餡の改良に取り組んでいる。FJPは、みなさん飾らない人たちが安心した。現場で誰よりも働いているので会合に出にくい時もあるがいろいろと勉強していきたい。

◇古川文子さん(白河市) 古川車体工業経営サポート。FJPはイキイキとした人が多いという印象で、とても素

2月例会 会員に聞く

ネーブルシティもとみやeuc(本宮市)

2月13日(火)

～気ままにトーク～

(進行:上石会長)

敵な会だ。私も輝けるようになりたい。(仕事で大事にしていること、目標)

平栗…愛。和菓子は材料がシンプルのため違いは「愛情」の差。愛情が基本だという父の教えを守っている。目標は、毎朝創る「朝生」をその場で見せて売る生感の店をつくること。

古川…感謝と心。今経営のサポートしかやっていないので、経営の本質や姿勢を学びたい。白河に軸足を置いて営業拡大に取り組んでいきたい。

新人会員紹介



木山律子さん

着付け教室主宰

福島市で創業

78年の呉服専門店を営みながら、

着付け教室を主宰しています。着物は日本の伝統であり、その歴史を引き継ぐということで、織・染の知識をはじめ、着付けの技能を学び自己研鑽してきました。母の跡を継いで会社を経営することになり、いろいろ悩み始めたところにFJPのご紹介を頂きました。

何もわからず入会致しましたが、今までとは異なる視点で多くの刺激を受け、脳の活性化に繋がっています。

また、例会には毎回とても新鮮な気持ちで参加しています。会員の皆様方にたくさんのことを学ばせて頂きながら、これから楽しく活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



窪田郁子さん

菓匠きね専務取締役

FJPに入会させていただき、まず最初に、私に

出来る事は、なんだろうと考えました。会員の皆様に力強さを感じ、学ばなくてはと強く思いました。時代の変化が急速に進む中、女性目線からのハード面、ソフト面の資質向上。戦うのではなく統合の時代、個の大切さをつくづく感じます。温故知新を大事にしながら、FJPの目的をふまえ、会員として積極的に一歩を踏み出し、学んでいく事で、私ができる事を精一杯させていただきます。と思っています。



佐藤直美さん

(有)ゼスト取締役

昨年9月に入会させていただき、率直な感想とし

て「勉強になる!」と思いました。学生作文コンクールの進め方などを拝見し、皆様の迅速な判断、行動、やり取りなどテキパキとしていてとても心地よかったです。出る杭は打たれる状況が今までありましたが、FJPは世代が様々ではありますが、だからこそ自分の個性をそのまま認めて頂けるような気がします。皆様の温かい心遣いに感謝し、今後入会される方々にも同じように接していけたらと思います。



伊藤江梨さん

暁経営会計代表

2017年4

月に開業し、お陰様で何とか1

周年を迎えることができました。「いきなり開業して大丈夫なの?」という視線を感じつつ強気で始めた事業ですが、日々力不足を感じることばかり。もつといい結果を顧客に提供できたはず!と苦い思いばかりです。足りない点を挙げればキリがありませんが、たくさんの方が将来に期待をして、何の実績もない私に仕事を下さったり、役割やチャンスを下さったり。有難い限りです。その想いと期待に応えるべく、更に更に精進していきます!

3月まとめ例会

2018年3月13日(火)
場所：ウエディングエルティ(福島市)

3月のまとめ例会は、各委員会ごと
に1年間のまとめを話し合い、次年度
に向けての計画、目標などを話し合
いました。そのまとめを各委員会より報
告して頂きました。

各委員会 活動報告

○総務委員会

委員長 菊池 美保子

定例会の出席率が一番高い真面目な
総務委員の皆様に助けられ、楽しく活
動を行っていました。

まとめ例会では、出席報告の方法や
定例会の受付と議事録作成を持ち回
りで担当する
など新年度に
向けて積極的
なご意見をた
くさんいただ
きました。

一般社団法
人としての決
算書や登記に
ついては本職



としている会員の方に委員として参画
していただけるのはとても心強く、こ
れからのFJPがしっかりと前に進んで
いけると確信しております。

女子学生懸賞作文事業は、早いも
ので5回目の募集となります。本年度
も皆さまのご協力を何卒よろしくお願い
いたします。

○事業委員会

委員長 瀬戸 孝子

平成29年度の事業も無事に終わろ
うとしておりますが、皆様には楽しく
元気に学ぶことが出来たでしょうか？
仲間づくりに関しては、若い方々の入
会で、会全体にも活気が満ち溢れてき
たかのようにです。作文コンクールもお陰
様で無事4回目終了し、5回目に向
けてまた新たな形で進んでいます。新

年度も、会員の
方々に毎月喜ん
で出席して頂け
るよう、今年度
の反省を基に計
画を考えて参り
ます。引き続き
皆様のご協力を
よろしく願い
いたします。



○交流・広報委員会

委員長 会田 和子

①会報「うでまくり」を年2回発
行する、②新会員を獲得するために
紹介活動を強化する、③「学生懸賞
作文募集」事業を成功させるための
広報活動を実施する、という3つを重
点目標に活動しました。新会員を獲
得するために、一般社団法人化する前
の入会パンフレットをリニューアルし、公
式サイトの告知や会員ページの更新を
行い、「仲間を増やそう」のスローガン
のもとに紹介運動を強化しました。お
かげ様で、今年度は新たに8名が仲間
入り。会に慣れていたたくまで御世話
役を広報委員会がやろうと提案して、
新人5人が当委員会所属になりました。
ところが、お
世話役になる
はずが逆に世
話をされる状
況に。作文募
集事業でも仲
間の有り難さ
を痛感させら
れた1年でした。



★2018年度もがんばりましょう！

FJP ♣️ 女子学生作文 一次審査 FJP



野地さん、菊池さん、会田さん



左から、佐藤さん、平栗さん、佐藤実行委員長、紺野副会長

編集後記

AIやロボットにとって代わられる
からといって、雇用の未来が暗い
とは思わない。踏ん張って働きたい
という若者に、最近お目にかかれな
いこと、採用危機で暗くなる。

(会田和子)